

アクモス株式会社 2010年6月期(第19期) 決算ハイライト

2010年 8月 3日

■ 目次 ■

■ マネジメントサマリー.....	2-4	■ セグメント情報 情報技術事業.....	12
■ 連結決算概況.....	5	■ セグメント情報 人材事業.....	13
■ 単体決算概況.....	6	■ 単体損益計算書.....	14
■ 連結営業利益 増減要因分析.....	7	■ 単体貸借対照表.....	15
■ 設備投資額・減価償却費.....	8	■ 2011年6月期 通期業績予測.....	16-17
■ 連結損益計算書.....	9	■ 企業理念・経営理念.....	18
■ 連結貸借対照表.....	10	■ コーポレート・ガバナンスの状況...	19
■ 連結キャッシュ・フロー計算書.....	11	■ 配当政策・自己株式.....	20



マネジメントサマリー
2010年6月期は「減収」対応にシフト

2010年6月期グループ基本方針

経営環境への対応力、成長シフトへの足場作り

2010年6月期はグループ営業力強化・出直しの年、営業力の強化と環境変化に適応した攻守のバランスを重視

「選択と集中」を強化

守りの方針

減収下でも収益を確保 ⇒ 管理部門業務統合、間接コスト削減を実施

- ・アクモス単体での通期に渡る役員報酬等の減額をはじめ、グループ全体での緊急経費削減対策を実施。
- ・販管費の削減により、経営環境悪化に伴う減収のなかで、利益の減少を押さえた。

(単位：百万円)

		2009年6月期	2010年6月期	増減額	増減率
販売管理費	単体	833	666	-167	-20.1%
	連結※	1,113	910	-203	-18.3%

※連結の数字は、2010年6月30日現在の連結対象会社のみで再計算しております。
当期取得した日本メカトロニクス㈱については、連結対象となった2010年4月以降3ヶ月分の費用を2010年6月期に合算しております。

2010年6月期中に「選択と集中」を完了
集中した事業分野＝BtoB型ITソリューション、ITサービス事業



マネジメントサマリー
2010年6月期は「減収」対応にシフト

2010年6月期グループ基本方針

経営環境への対応力、成長シフトへの足場作り

2010年6月期はグループ営業力強化・出直しの年、営業力の強化と環境変化に適応した攻守のバランスを重視

「選択と集中」を強化

攻めの方針

コア事業を強化 ⇒ 人材事業2社、BtoC事業売却

M & A 戦略 ⇒ ITソリューション事業基盤の拡大のため、
医療系システム運用管理・開発企業をグループ化

第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
・人材紹介事業売却 (アクシスコンサルティング(株))		・人材派遣事業売却 (株)マックスサポート ・情報技術のBtoC事業売却 (株)アルティ ・情報技術のITソリューション企業取得 (日本メカトロニクス(株))	

⇒ BtoBに特化した情報技術事業グループとなったのを機に、グループ営業力強化を図る。

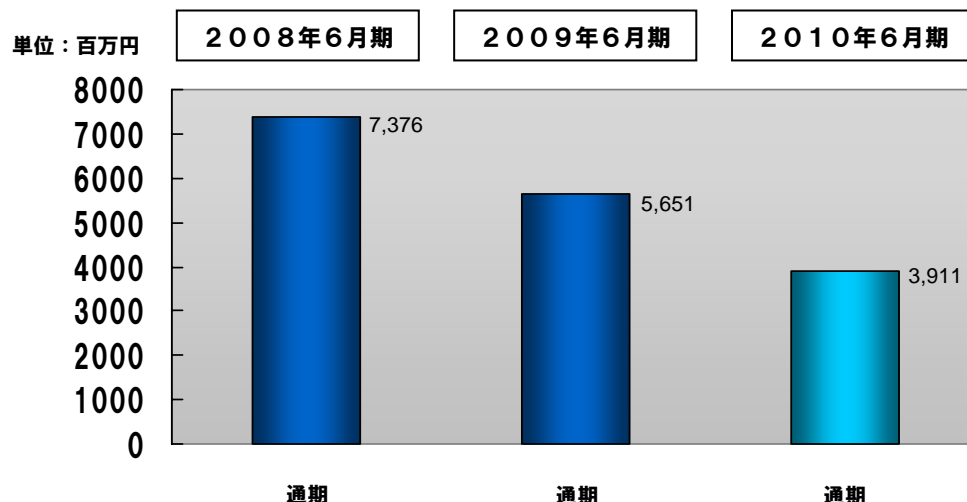
2010年6月期中に「選択と集中」を完了
集中した事業分野＝BtoB型ITソリューション、ITサービス事業

アクモスグループ事業 (2010年6月30日現在)

ソリューション & サービス	ITソリューション		ITサービス	
	ACMOS	日本 メカトロニクス	G's staff 情報処理サービス	XXCAL 検証サービス
コンサルティング	公共、産業等の分野で システム提案、 システム構築、設計、 ソフトウェア開発			規格認証取得 コンサルティング
ソフトウェア開発		生産管理、医療系システム		
SI				
IT基盤 ネットワーク構築		医療系ネットワークシステム 基盤構築		
保守・運用サービス	24h・365日 運用サービス (iDC、ビル管理システム 通信キャリアetc.)	24h・365日運用サービス 病院内情報システム		
検証サービス				規格認証 第三者検証 ユーザビリティ評価
情報処理サービス			データ入力 マークシート・web 活用調査集計	
アウトソーシング・ BPO			各種事務局 (キャンペーン・セミナー)	

【連結】売上高・営業利益・経常利益・当期利益 3期比較

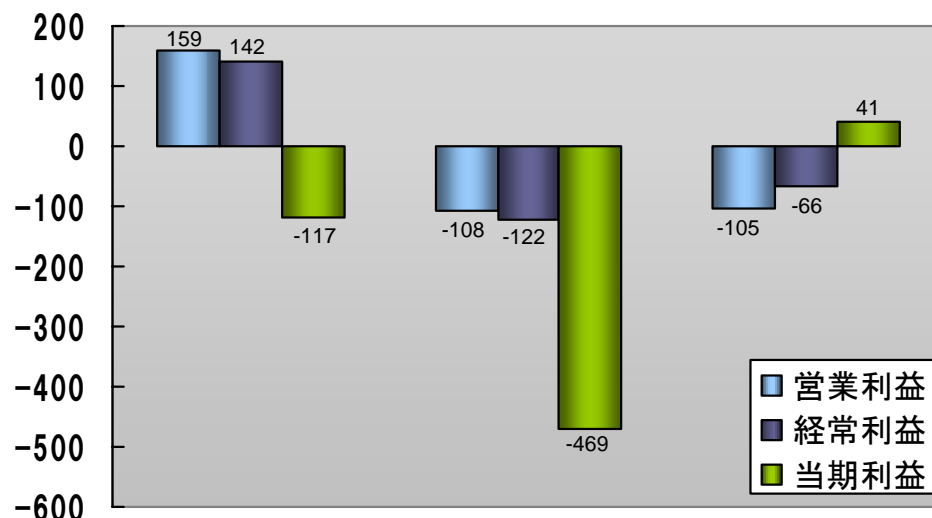
上段：売上高 下段：利益項目



2010年6月期（第19期）通期
連結売上高 3,911百万円

- ・需要の減退や子会社減少の影響により、前年同期比で売上減

情報技術事業・・・売上高 2,857百万円
人材事業・・・売上高 1,065百万円



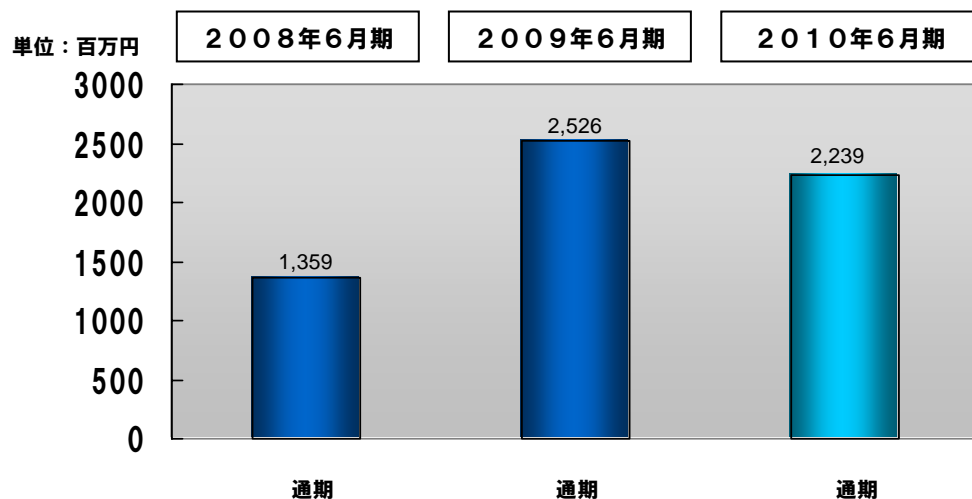
2010年6月期（第19期）通期
連結営業損失 105百万円
連結経常損失 66百万円
連結当期純利益 41百万円

- ・売上減による営業利益の減少を、固定費の削減により抑える

情報技術事業・・・営業利益 0.2百万円
人材事業・・・営業損失 17百万円
子会社売却益による特別利益計上 134百万円

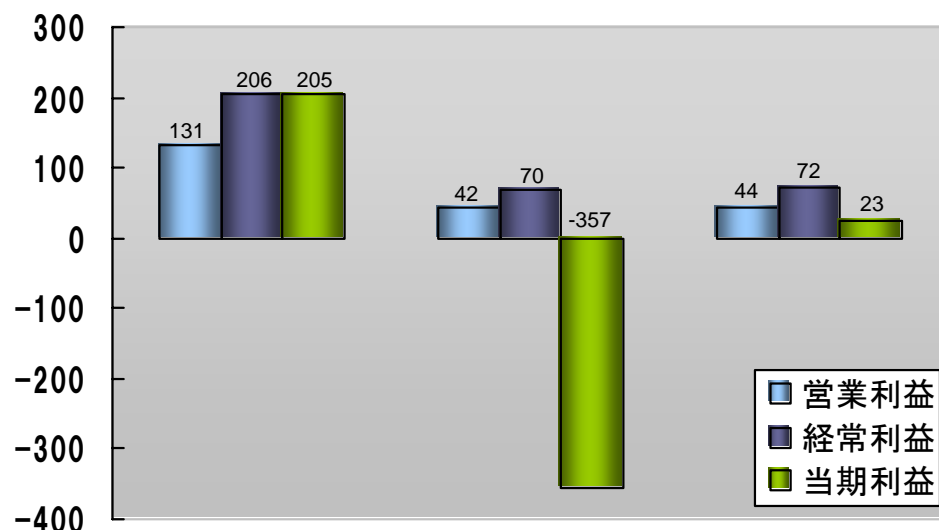
【単体】売上高・営業利益・経常利益・当期利益 3期比較

上段：売上高 下段：利益項目



2010年6月期（第19期）通期
売上高 2,239百万円

- ・エンドユーザーのIT化投資に対する慎重な判断や、顧客企業の内製化による受注減の影響を受け、前年同期比で売上減

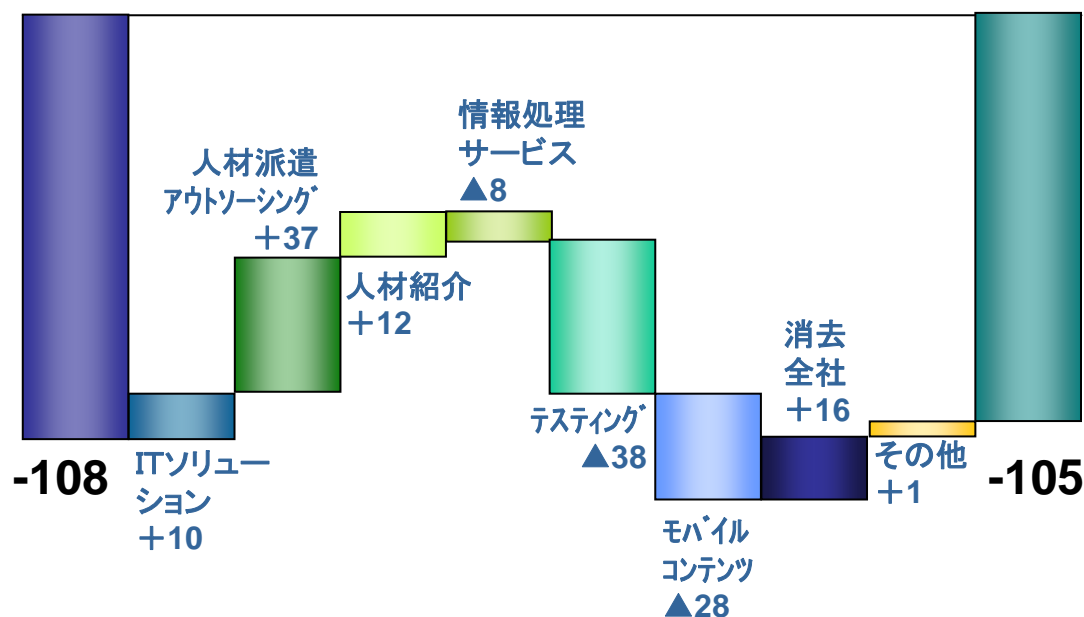


2010年6月期（第19期）通期
営業利益 44百万円
経常利益 72百万円
当期純利益 23百万円

- ・売上減による営業利益の減少を、固定費の削減により抑える
- ・販売費及び一般管理費を、前年同期比で167百万円削減
- 子会社売却による特別利益 75百万円、
子会社減損による特別損失 98百万円計上

連結営業利益 前期比3百万円増

(単位:百万円)



【主な増減理由】

- ITソリューション
売上は減少するも、経費の削減に努めた結果、営業利益増
- 情報処理サービス
前期における官公庁の大型案件受注による特殊要因がなくなり、売上が大きく減少したものの、他案件受注により営業利益の減少幅を圧縮
- テスト
景気悪化による新規製品の開発減少によるもの

※当第1四半期連結会計期間において、人材紹介事業、当第3四半期連結会計期間において、人材派遣・アウトソーシング事業を売却し、当連結会計年度末において人材事業のセグメントに含まれる事業は無くなりました。
なお、当第3四半期連結会計期間において、モバイルインターネットコンテンツ開発事業を売却しております。

2009年6月期

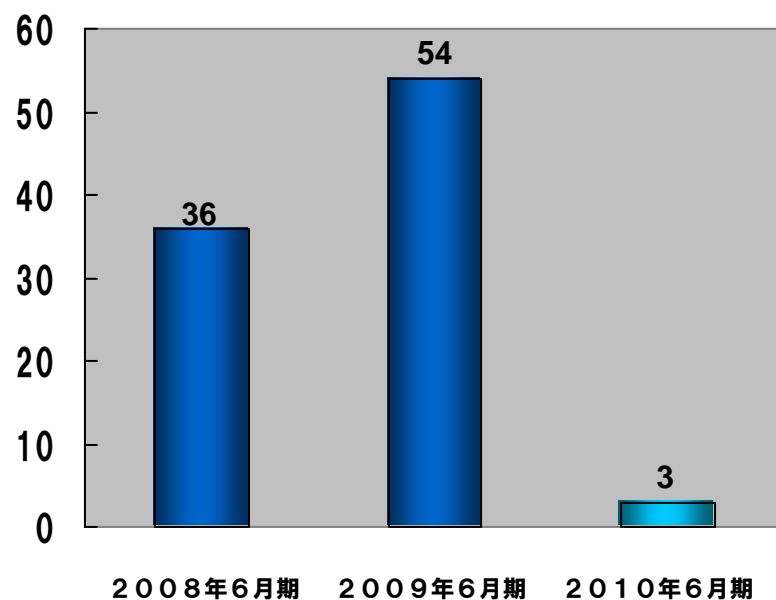
2010年6月期

【主な増減理由】

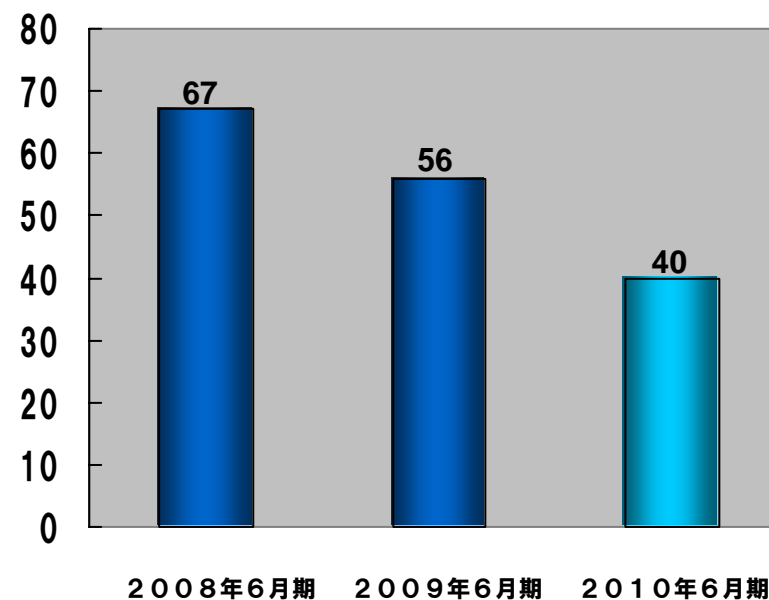
- 経費削減のため
- 子会社の増減によるもの

(単位:百万円)

■ 設備投資額 (有形及び無形固定資産への投資額)



■ 減価償却費



- **売上高 3,911,394千円**（前年同期比 1,740,040千円の減少）
〈主な理由〉 設備投資や研究開発投資の凍結延期等需要の減退による影響、子会社数の減少
- **営業損失 105,669千円**（前年同期比 2,474千円の減少）
〈主な理由〉 売上減による営業利益の減少を固定費の削減により対応
- **経常損失 66,252千円**（前年同期比 56,417千円の損失減少）
〈主な理由〉 営業外収入によるもの
- **当期純利益 41,962千円**（前年同期比 511,101千円の増加）
〈主な理由〉 子会社3社の売却益134,138千円(※)

（単位：千円）

	2009年6月期	2010年6月期	増減	2010年6月期予想 (2010年4月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	5,651,435	3,911,394	△1,740,040	3,900,000	100.3%
営業利益	△108,143	△105,669	2,474	△128,000	—
経常利益	△122,670	△66,252	56,417	△102,000	—
当期純利益	△469,138	41,962	511,101	12,000	349.7%

※連結上過年度修正を加味しているため、単体の数字とは差異が生じております。

連結貸借対照表（要約）



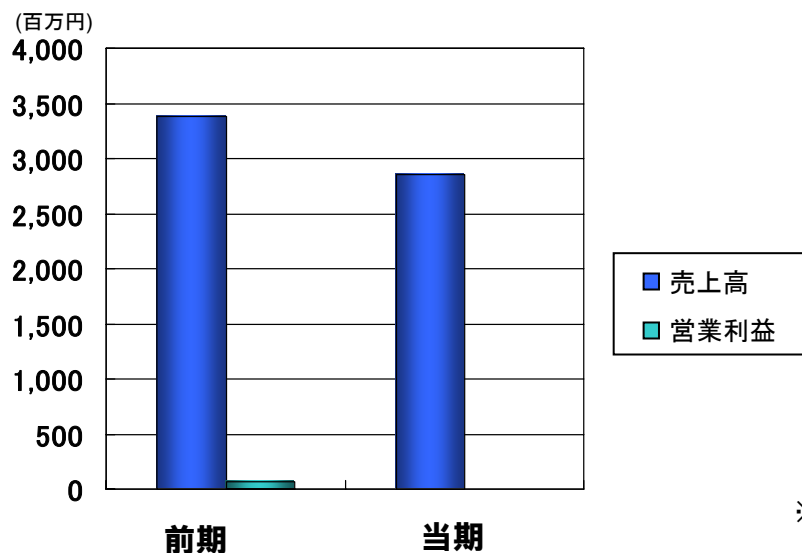
資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,657,742	1,174,947	買掛金	84,859	56,744
受取手形及び売掛金	806,832	395,731	短期借入金	255,000	—
たな卸資産	29,692	16,167	長期借入金（1年内）	341,797	78,360
その他	74,305	34,154	社債（1年内）	80,000	—
流動資産合計	2,568,573	1,621,001	未払金	79,071	48,741
有形固定資産	293,572	232,009	未払費用	265,034	188,424
無形固定資産	438,611	336,554	その他	118,541	115,138
投資その他の資産	165,134	111,829	流動負債合計	1,224,303	487,409
固定資産合計	897,318	680,392	長期借入金	484,050	235,220
			社債	160,000	—
			その他	—	7,620
			固定負債合計	644,050	242,840
			負債合計	1,868,353	730,249
			純資産の部		
			株主資本合計	1,438,313	1,476,929
			評価・換算差額等合計	△727	220
			少数株主持分	159,952	93,994
			純資産合計	1,597,538	1,571,144
資産合計	3,465,892	2,301,393	負債純資産合計	3,465,892	2,301,393

- **営業活動によるキャッシュ・フロー** 168,809千円 （前年同期比 131,320千円の増加）
〈主な理由〉 子会社株式売却益によるもの
- **投資活動によるキャッシュ・フロー** △190,331千円 （前年同期比 174,794千円の減少）
〈主な理由〉 短期及び長期貸付による支出のため
- **財務活動によるキャッシュ・フロー** △467,398千円 （前年同期比 640,579千円の減少）
〈主な理由〉 短期及び長期借入金の返済及び社債の償還による支出のため

（単位：千円）

	2009年6月期	2010年6月期	増減
	通期	通期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,489	168,809	131,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,536	△190,331	△174,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,181	△467,398	△640,579
現金及び現金同等物の増減額	※ 136,019	△488,920	△624,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,364,667	1,500,686	136,019
現金及び現金同等物の期末残高	1,500,686	1,011,766	△488,920

※子会社の連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 59,114千円を含む



対処すべき課題

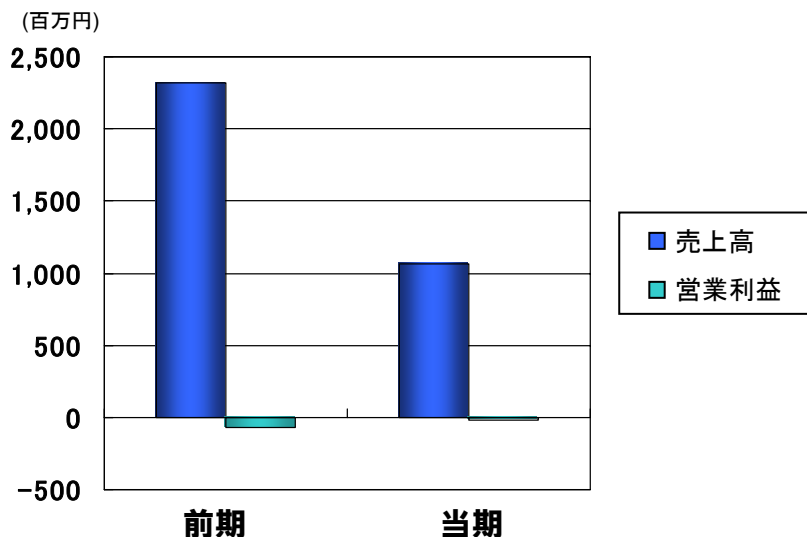
- ITソリューション
 - ・営業力の強化、技術力の向上、顧客からの信頼性向上
協力会社とのアライアンスの強化
- IT製品のテストング
 - ・事業規模の見直し・再構築による機動的な事業体制の整備
営業基盤の強化、他企業とのアライアンス
- 情報処理サービス
 - ・既存顧客に対する営業の深堀による新たなニーズの収集
価格競争に負けない体制作り

※ 当第3四半期連結会計期間において、モバイルインターネットコンテンツ開発事業を売却しております。

(単位：千円)

	2009年6月期	2010年6月	増減
	通期	通期	
売上高	3,382,770	2,857,928	△524,841
外部	3,380,623	2,856,490	△524,132
内部	2,146	1,437	△709
営業利益	63,730	229	△63,500

※2010年6月期より、セグメントの区分を変更しておりますので、2009年6月期の数値については、変更後のセグメントに組替えております。



※当第1四半期連結会計期間において、人材紹介事業、
当第3四半期連結会計期間において、人材派遣・アウトソーシング事業を売却し、
当連結会計年度末において人材事業のセグメントに含まれる事業は無くなりました。

(単位：千円)

	2009年6月期	2010年6月	増減
	通期	通期	
売上高	2,319,408	1,065,182	△1,254,225
外部	2,270,811	1,054,903	△1,215,907
内部	48,596	10,278	△38,318
営業利益	△66,998	△17,055	49,943

※2010年6月期より、セグメントの区分を変更しておりますので、2009年6月期の数値については、
変更後のセグメントに組替えております。

単体損益計算書（要約）



- **売上高** 2,239,095千円 （前年同期比 287,211千円の減少）
〈主な理由〉 システム開発規模の縮小及び開発計画の凍結による要員の削減によるもの
- **営業利益** 44,563千円 （前年同期比 1,648千円の増加）
〈主な理由〉 大幅な経費の削減を行ったため
- **経常利益** 72,388千円 （前年同期比 1,664千円の増加）
〈主な理由〉 保険解約金又は雇用調整助成金によるもの
- **当期純利益** 23,001千円 （前年同期比 380,837千円の増加）
〈主な理由〉 人材紹介事業子会社の売却益 75,000千円

（単位：千円）

	2009年6月期	2010年6月期	増減	2010年6月期予想 (2010年4月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	2,526,307	2,239,095	△287,211	2,200,000	101.8%
営業利益	42,914	44,563	1,648	5,000	891.3%
経常利益	70,724	72,388	1,664	22,000	329.0%
当期純利益	△357,836	23,001	380,837	72,000	31.9%

単体貸借対照表（要約）



■ 子会社売却による投資その他の資産の減少

＜主な理由＞ 3社の子会社株式 127,445千円

■ 負債の減少による自己資本比率の改善

＜主な理由＞ 借入金の返済 267,120千円

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	935,397	910,904	買掛金	40,714	45,074
受取手形及び売掛金	317,734	288,464	長期借入金（1年内）	267,120	78,360
たな卸資産	22,671	11,110	未払金	46,634	39,385
その他	26,797	42,739	未払費用	180,282	168,311
流動資産合計	1,302,600	1,253,218	賞与引当金	16,875	18,302
有形固定資産	198,279	188,035	その他	67,769	48,848
無形固定資産	5,175	3,819	流動負債合計	619,395	398,281
投資その他の資産	651,101	436,558	長期借入金	313,580	235,220
固定資産合計	854,556	628,412	固定負債合計	313,580	235,220
			負債合計	932,975	633,501
			純資産の部		
			株主資本合計	1,224,908	1,247,909
			評価・換算差額等合計	△727	220
			純資産合計	1,224,181	1,248,130
資産合計	2,157,156	1,881,631	負債純資産合計	2,157,156	1,881,631

売上規模から営業利益重視にシフト

(単位:百万円)

	2010年6月期	2011年6月期	増減
	通期実績	通期予測	
売上高	3,911	3,300	△611
営業利益	△105	36	141
経常利益	△66	30	96
当期純利益	41	30	△11

売上規模から営業利益重視にシフト

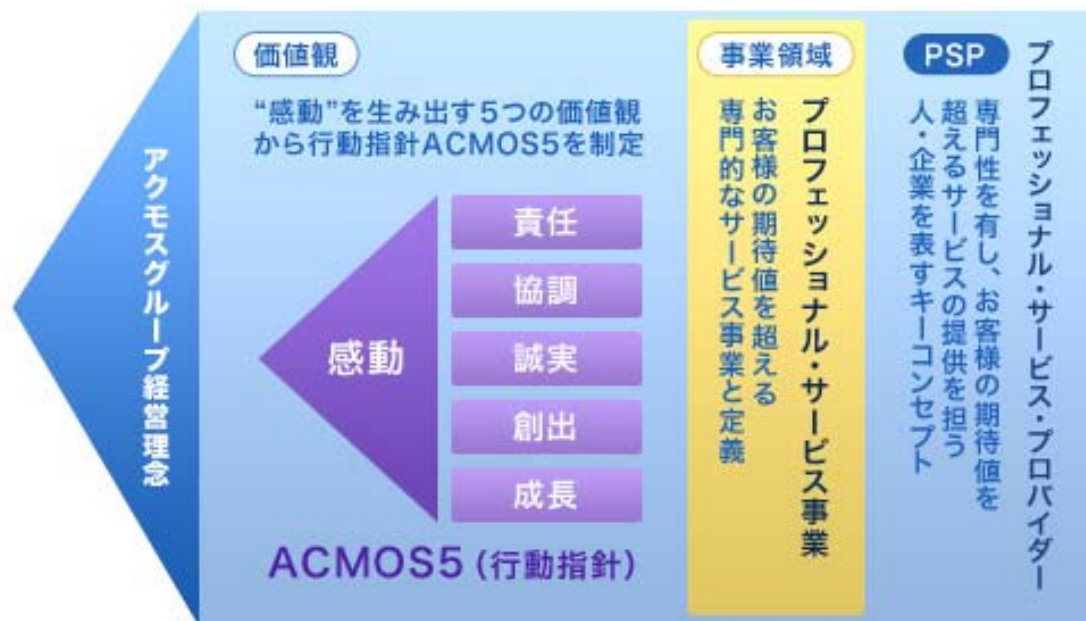
(単位:百万円)

	2010年6月期	2011年6月期	増減
	通期実績	通期予測	
売上高	2,239	2,600	361
営業利益	44	90	46
経常利益	72	80	8
当期純利益	23	75	52

当社は、プロフェッショナルサービス事業(お客様の期待値を超える専門的なサービス事業)を事業領域とする当社グループのソリューションの提供を通じ、持続的に成長してまいります。

企業理念

アクモスグループの持続的成長を実現し、事業活動を通じて社会に貢献するために、アクモスグループの一人ひとりが共有すべき方針と価値観を定めています。



行動指針「ACMOS 5」

Accountability 【責任】

プロフェッショナルとして責任を最後まで全うします。

Collaboration 【協調】

お客様や仲間と協力して強いチームを作ります。

Mind 【誠実】

正しいと思うことを愚直なまでに誠実にやり続けます。

Output 【創出】

創意工夫して新しいサービスを生み出します。

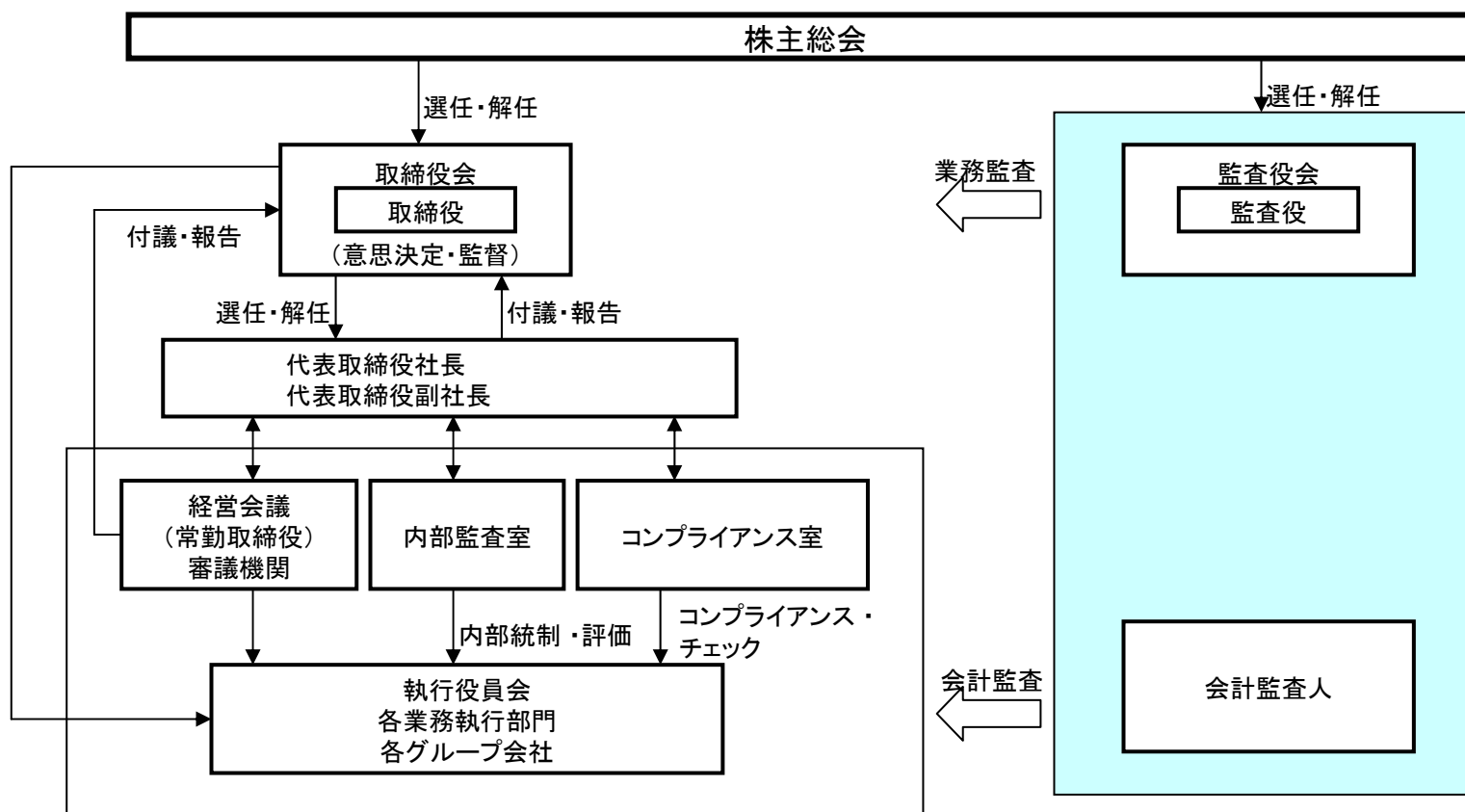
Stretch 【成長】

常に向上心をもって成長し続けます。

アクモスグループ経営理念

「私たちアクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。」

当社は、持続的成長を実現し、事業活動を通じて社会に貢献するために、企業理念において、当社グループの一人ひとりが共有すべき方針と価値観を定め、効率的かつコンプライアンスを重視した健全な企業経営を推進するために企業組織を分権化し、分権化された各組織の独自性や多様性を認めつつ、公正で透明性の高いコンプライアンスを重視したコーポレートガバナンス体制を整備、運用しております。



配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当資源確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・連結当期純利益に対する配当性向30%を目標に配当を行う

自社株取得状況

当期は自己株式の取得は行っておりません。

■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営情報管理部 IR・コーポレート室 TEL:03-3239-4066